

令和2年1月14日

—第8回「ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞」を受賞—

香川大学発ベンチャーとして、「メロディ・インターナショナル (株) (尾形優子 代表取締役 CEO他6名)」が受賞

経済産業省、国土交通省、厚生労働省、文部科学省は、令和元年12月27日に第8回「ものづくり日本大賞」の内閣総理大臣賞受賞者(15件37名、1団体)を決定し、併せて経済産業省では、経済産業大臣賞、特別賞、優秀賞の受賞者(41件236名、1団体)を決定しました。

「ものづくり日本大賞」は、製造・生産現場の中核を担っている中堅人材や伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材、今後を担う若年人材など、「ものづくり」に携わっている各世代の人材のうち、特に優秀と認められる人材を顕彰するもので、今回で8回目を迎えます。

本学関係では、香川大学発ベンチャーとして、「メロディ・インターナショナル (株) 尾形優子 代表取締役CEO 他6名(内、香川大学瀬戸内圏研究センター 原 量宏 特任教授、竹内康人 客員教授)」の「世界中の赤ちゃんとお母さんを見守るプラットフォームとIoT型胎児モニターの開発」が経済産業大臣賞(製品・技術開発部門)を受賞しました。

なお、表彰式・祝賀会は、1月27日(月曜日)に開催される予定です。

概要

香川大学発ベンチャーである「メロディ・インターナショナル (株) 尾形優子 代表取締役 CEO 他6名(内、香川大学瀬戸内圏研究センター 原 量宏 特任教授、竹内康人 客員教授)」が開発した「世界中の赤ちゃんとお母さんを見守るプラットフォームとIoT型胎児モニター」は、産婦人科医の居ない地域でも、IoT型胎児モニターを使った妊婦健診が出来るプラットフォームの構築とそれに繋がるIoT型の胎児モニターにより、世界初のどこでも、だれでも、計測が可能な分娩監視装置を実現しました。

「技術の壁」「実証の壁」「法律の壁」を産学連携でブレークスルーすることにより、SDGs 3.1(妊産婦死亡率の低減)、SDGs 3.2(新生児死亡率低減) 実現が期待されています。

お問い合わせ先

香川大学 瀬戸内圏研究センター 特任教授 原 量宏

TEL: 087-887-4967

E-mail: tsukuda@healthcare-innovation-forum.jp

香川大学 研究協力グループ 瀬戸内圏研究センター担当 石井沙世

TEL: 087-832-1316 FAX: 087-832-1319

E-mail: tikyosenm@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

